

ああ、 結婚！

—婚活日記—

第 39 回

黒田長宏

2026年

<5月4日>

38回の原稿を送った。振り返りの文章も加えてみたが、これからどうすればいいんだろうなあ。

<6月9日>

本来、今日は Youtube『マーサとクッピーのチャレンジトーク』のロケだったのだが、私が緊急入院してしまったので、延期で残念。

だけど、すぐに退院。心臓のカテーテル検査のオペレーターは若い女医だった。年齢や性別で区別するなというけど、凄いなと思う。

<7月15日>

今回は緊急入院の頃にしたんだっけ。日記ではなくて月報ペースであるが、あれから、手術先から、かかりつけ医に情報が伝えられて、薬が1種類増えた。あながち、勇み足で緊急入院したわけでもなかった。

マーサとクッピーのOKダンサーズの活動は増やしている。そのきっかけでアクアラインを運転したり、マーサと活動していなければ経験しなかったのは、日本ハムファイターズの公式戦もそうだが、いくつも出てきている。それをしなかったら、録画したドラマを観ていたのだが。

<8月8日>

現在の私は59歳になっているが、いちおう結婚は人生に大事だと思い続けていたから、それでも48歳で初婚に成功したのはしたのであった。これだって、対人援助にはならないとしても、そういう年齢まで結婚できない人にとっての勇気づけにはなったと思う。ところが、超早期離婚となり、裁判をさせられ、そのほうが新婚生活より長いという悪夢のようなひとときを人生に記録してしまった。

現在は Youtube と Tiktok という2本立てのSNSに希望を見出して定期的にアップしているわけだけでも、この、対人援助学会に入会させていただいたのも、結婚という制度が対人援助的なものだと思っていたからである。

だが、さすがに59歳にもなると絶望的な気持ちや投げやりな気持ちも出てきているのだ。だいたい生物は個体とともに種族の維持で成り立っているのに、自分自身は途切れてしまう。

そういいながら、子孫は無理だとしても、

結婚に公的も私的もないような気もするが、若干公的機関気味のところだけまだやっている。連敗続きだ。まったく公的ではないようなマッチングアプリはやめている。

だが、現在SNSでコンビを組んでいる人はマッチングアプリで知り合ったのだが、異性的パートナーとしてではなく、パフォーマンスの相棒のような存在となっている。



このところは、マーサとクッピのOKダンサーズとしての活動が人々に勇気でもなんでも希望を与えられるようなパフォーマンスをSNSでみせられることが、対人援助と言えるものではないのかなと考えている。想定外にOKダンサーズの活動が有名になればなるほど、対人援助学会の私への注目度も大きく変わってくるだろう。世の中はそういう風に出てきている。